2020年1月期（第36期）決算説明会

株式会社ACCESS

2020年3月

ACCESS CO., LTD.

© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

将来に関する記述等についての注意点

- 本資料に含まれる業績目標等、将来に関する記述については、
  現時点で入手可能な情報に基づき、当社グループで判断したものです

- 将来に関する記述には様々な不確実要素が内在しており、
  実際の業績は記載内容と異なる場合がございますので、
  本資料の記載内容に全面的に依拠して、投資等の判断を行うことは差し控えてください

- なお、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大による業績への影響は現時点で見通すことが困難な為、次期業績見通しにはその影響を織り込んでいません
  当社事業への影響について慎重に見極め、今後修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします

●ACCESS、ACCESSロゴ、NetFront、PUBLUS、CROSは、日本国、米国及びその他の国における株式会社ACCESSの商標又は登録商標です。●ACCESS Twineは、ACCESS Europe GmbHの欧州連合及びその他の国における商標又は登録商標です。●IP Infusion、IP Infusionロゴ、ZebOS、OcNOSは、IP Infusion Inc.の米国及びその他の国における商標又は登録商標です。●その他、文中に記載されている商標、会社名およびロゴマークは、それぞれ所有する会社に帰属します。

© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

目次

1. 2020年1月期（第36期）連結業績ハイライト

2. 2020年1月期（第36期）セグメント業績ハイライト

3. 2021年1月期（第37期）業績計画

4. 今後の戦略的取り組み

© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

1. 2020年1月期（第36期）
連結業績ハイライト

第36期 連結業績ハイライト①

- 売上高は前期比で伸長
- EBITDA*も前期比で大きく伸長

（百万円）

	2020年1月期	前期比
売上高	9,422	+15.8%
営業利益	387	▲27.4%
EBITDA*	1,861	+32.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	493	+30.6%

＊ EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

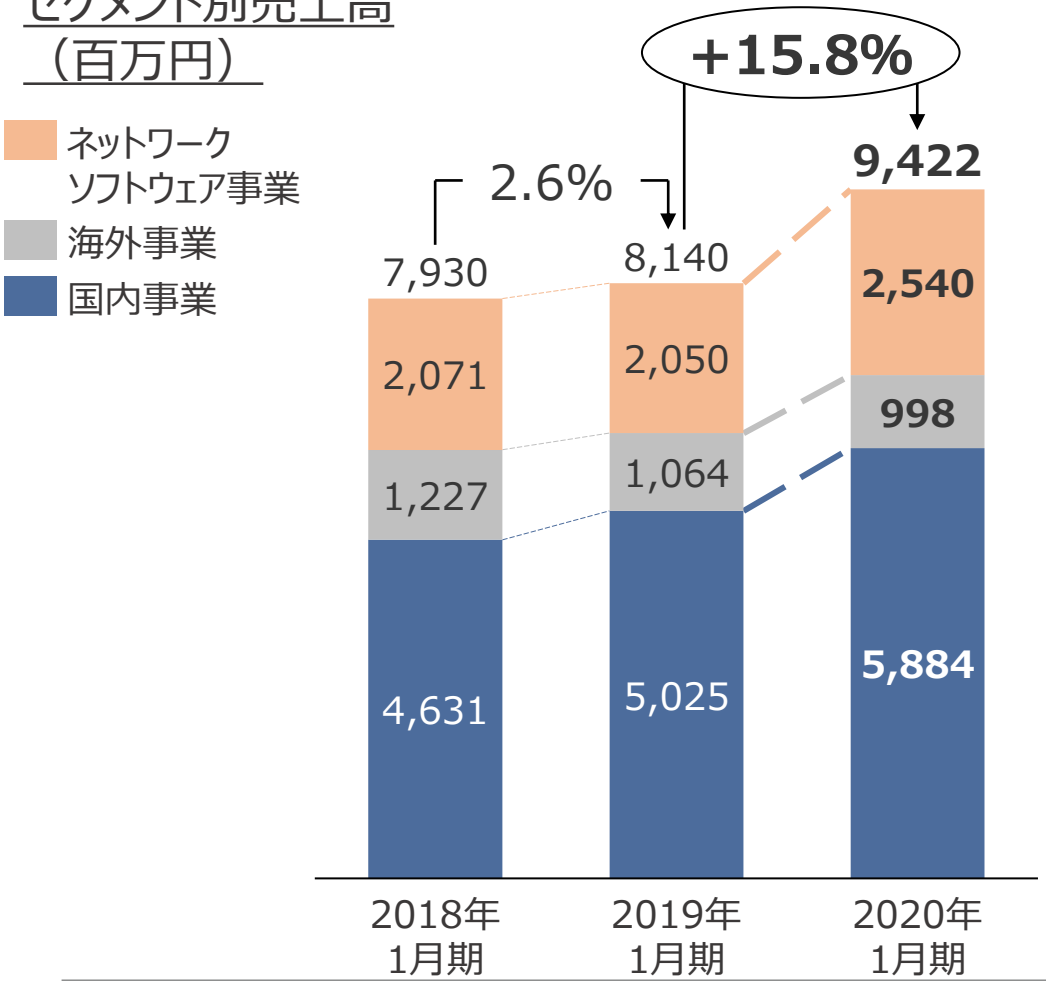
© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS

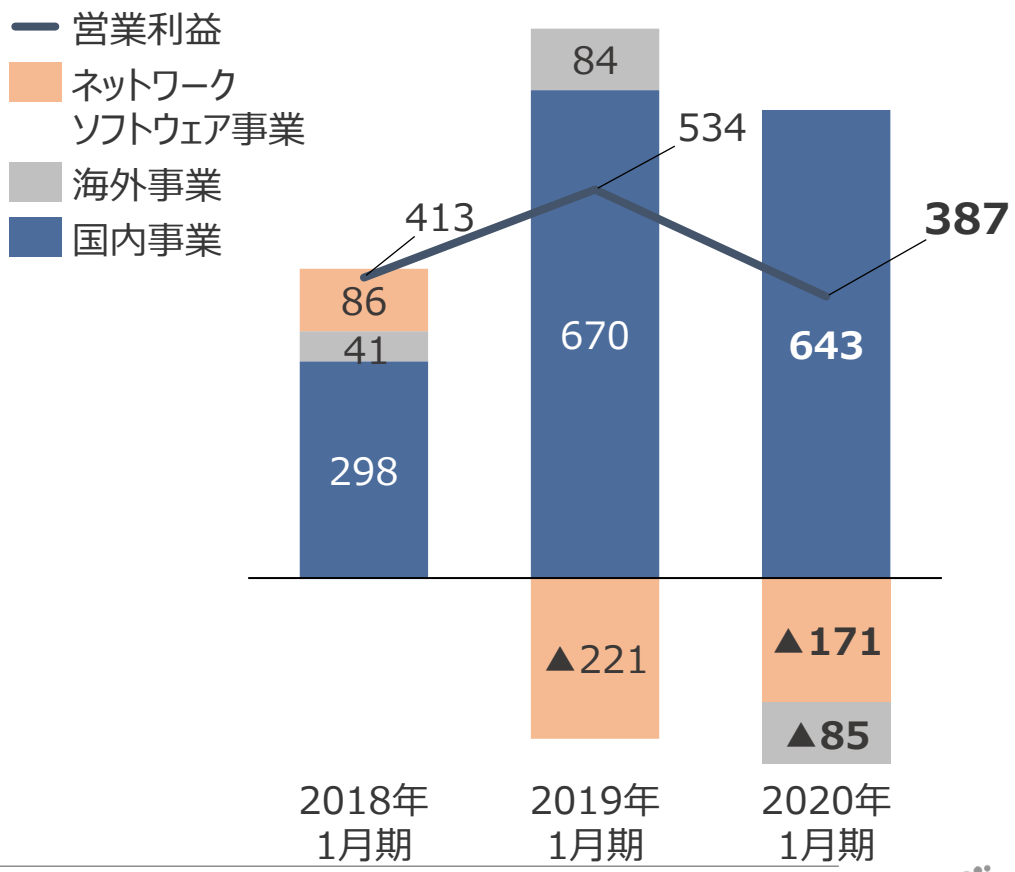
第36期 連結業績ハイライト②

- 前年を上回る売上高成長率を達成
- 国内事業及びネットワークソフトウェア事業セグメントの売上成長が寄与
- 成長投資先行の結果、営業利益は前期を下回る

セグメント別売上高
（百万円）



セグメント別損益・営業利益
（百万円）

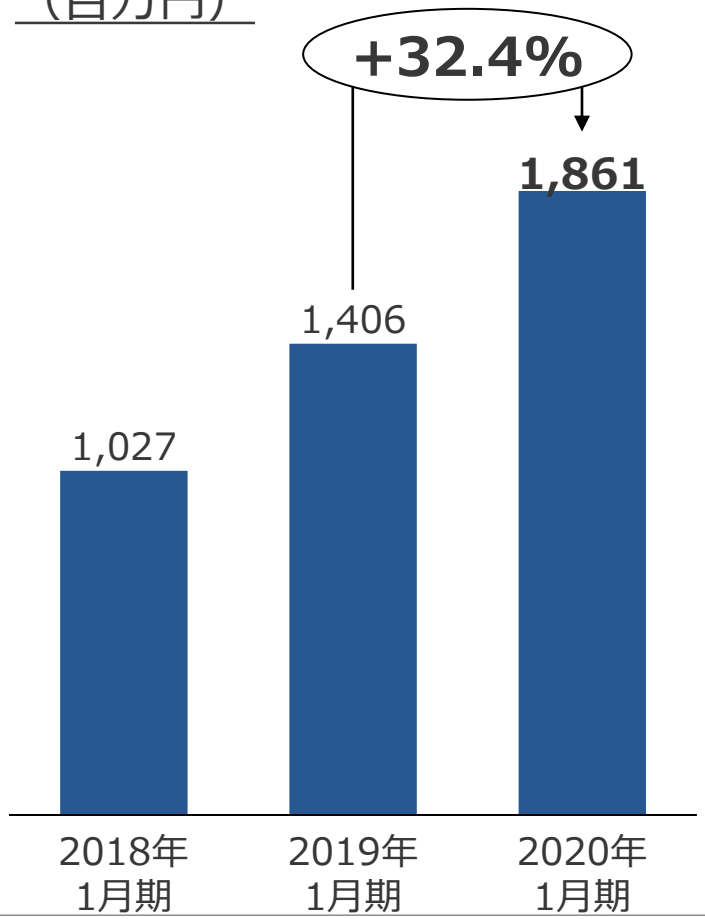


© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

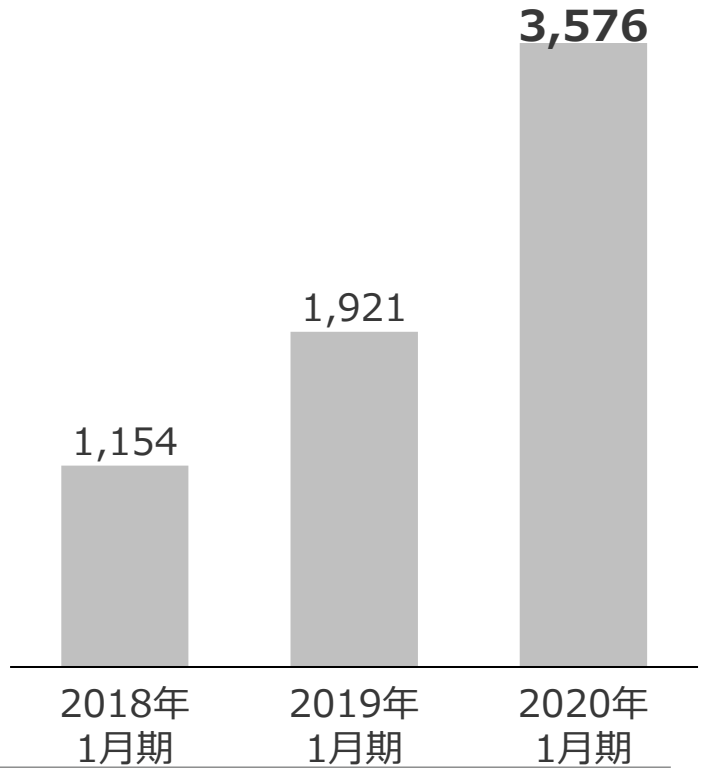
第36期 連結業績ハイライト③

- EBITDAは継続して伸長
- ストック型収益中心への事業構造変革を企図した、成長分野への製品開発投資を継続して実施

連結EBITDA
（百万円）



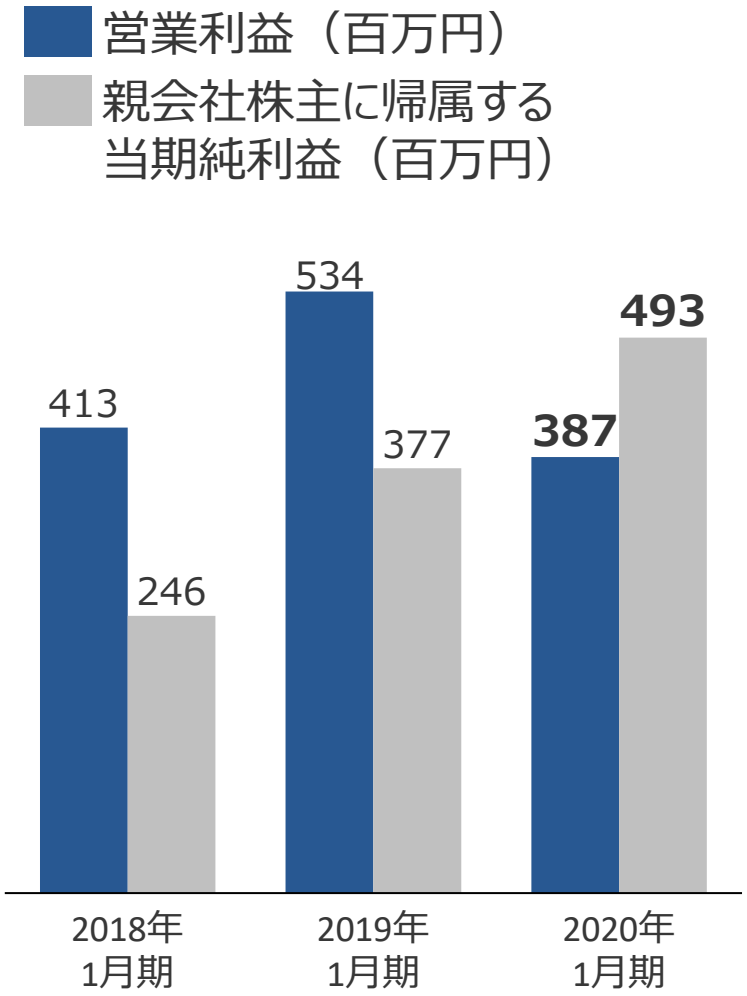
ソフトウェア資産取得額
（百万円）

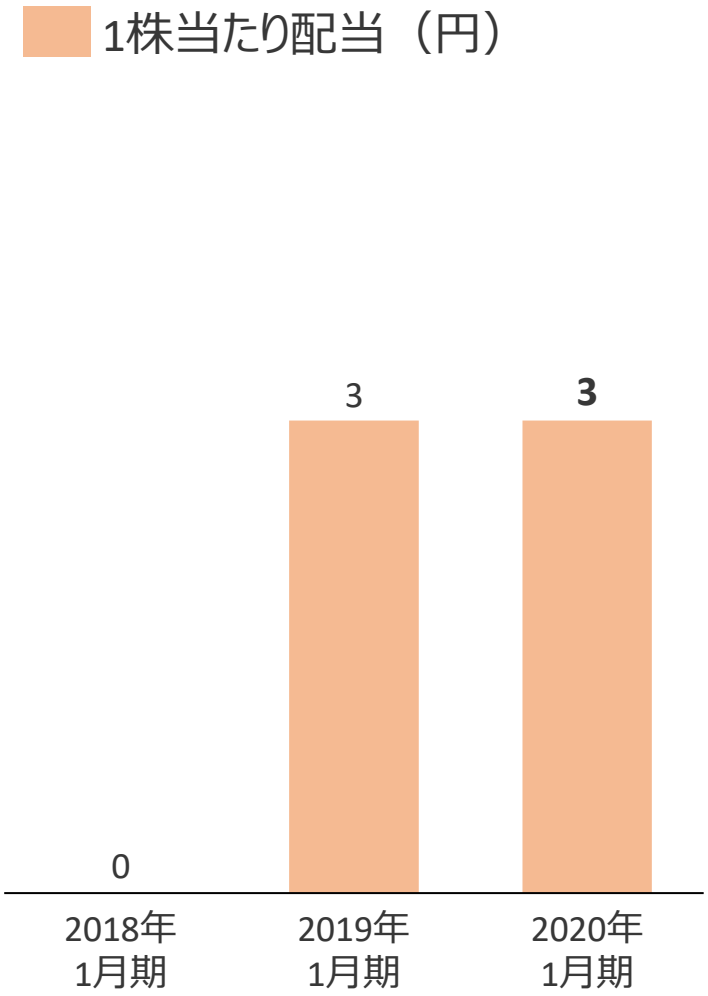


© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

第36期 連結業績ハイライト④

- 1株当たり3円の配当を実施
  - ✓ 連結配当性向23.6%
- 今後も、安定的な利益還元施策を継続的に実施する方針





© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

2.　2020年1月期（第36期）
セグメント業績ハイライト

第36期 セグメント業績ハイライト①

- IoT、電子出版、Webプラットフォーム、ネットワークの各事業を展開

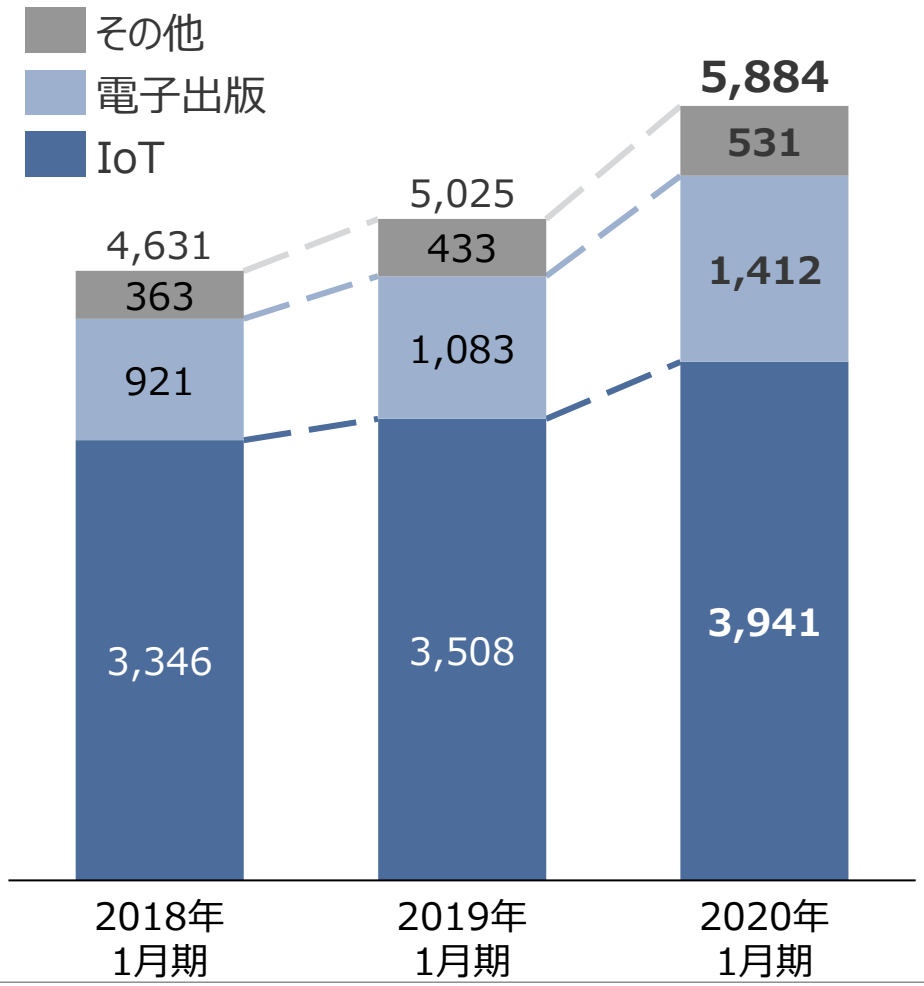
国内事業セグメント	IoT ソリューション WAVEE+	様々な産業向けに、IoT開発プラットフォーム、位置情報等のセンサー、通信（ゲートウェイ）、クラウド等のIoTサービス開発関連機能を一括提供	IoT事業
	電子出版プラットフォーム dp+ PUBLUS	大手出版社のコミックストアをメインターゲットとしてコンテンツ配信システムやビューワ等の電子書籍サービスに必要なソリューションを一括提供	電子出版事業
	組み込みブラウザ NetFront™	15億台以上の機器への搭載実績がある、TV、STB、ゲーム機、車載機器等向けの組み込みブラウザ	Webプラットフォーム事業
海外事業セグメント	組み込みブラウザ NetFront™	TV向けにブラウザを提供するほか、車載向けにはカーナビやMMI（Multi-Media Interface）表示エンジン用途に提供	
	マルチメディアコンテンツ配信プラットフォーム ACCESS TWINE™	車載インフォテインメントやスマートTV向けにマルチスクリーンでのコンテンツサービス提供を実現するソリューション	
ネットワークソフトウェア事業セグメント	ネットワーク機器向けミドルウェア ZebOS®	グローバルで300以上の機器ベンダーへの採用実績がある、Layer 2, Layer 3, 及びMPLS/MPLS/TP ネットワークプラットフォーム	ネットワーク事業
	White Box向けネットワークOS OcNOS® DANOS-Vyatta edition	ネットワーク業界初のキャリアグレード（通信キャリア向け品質水準）のホワイトボックス向けネットワークOS	

© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

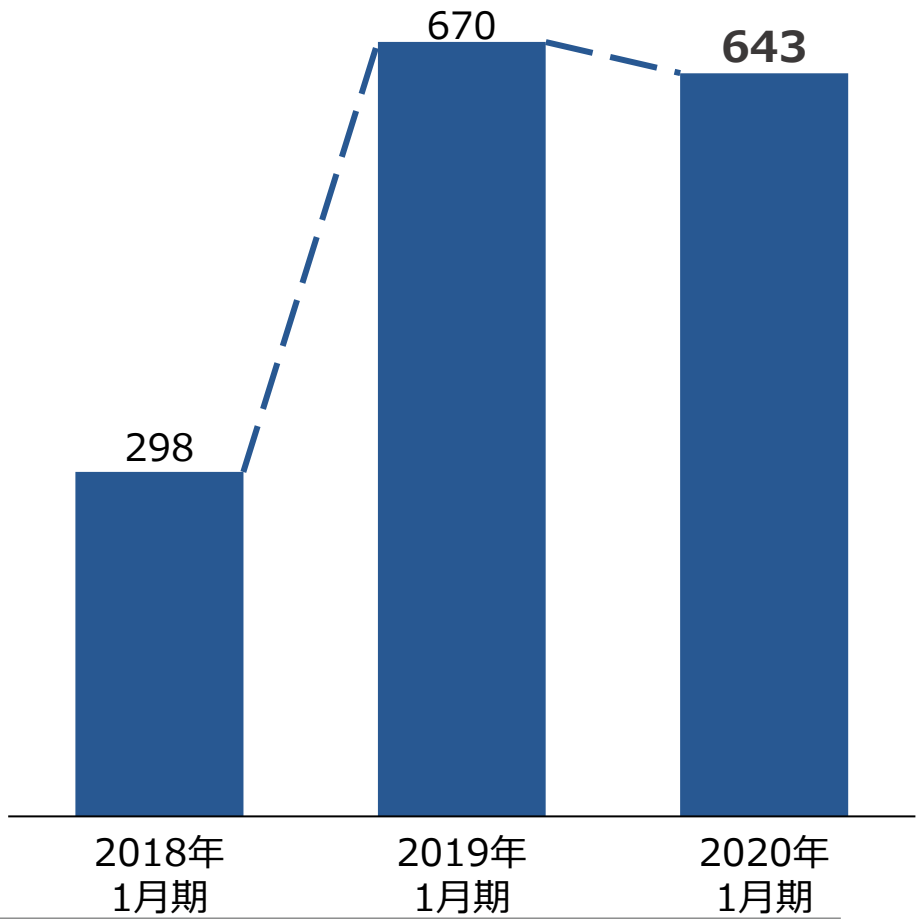
第36期 セグメント業績ハイライト②（国内事業）

- IoT、電子出版事業ともに、前期比で増収
- 事業基盤および開発投資強化に伴う費用増により、前期比で減益

売上高（百万円）



セグメント損益（百万円）

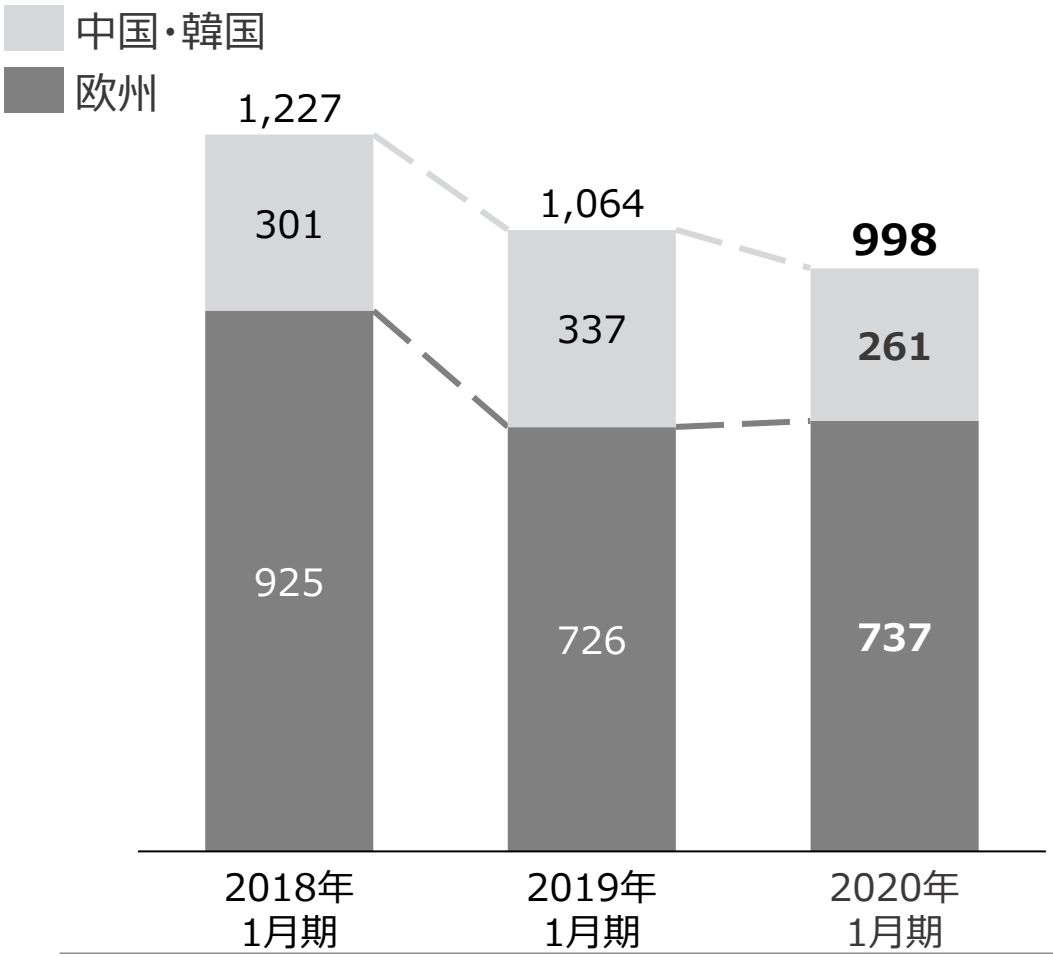


© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

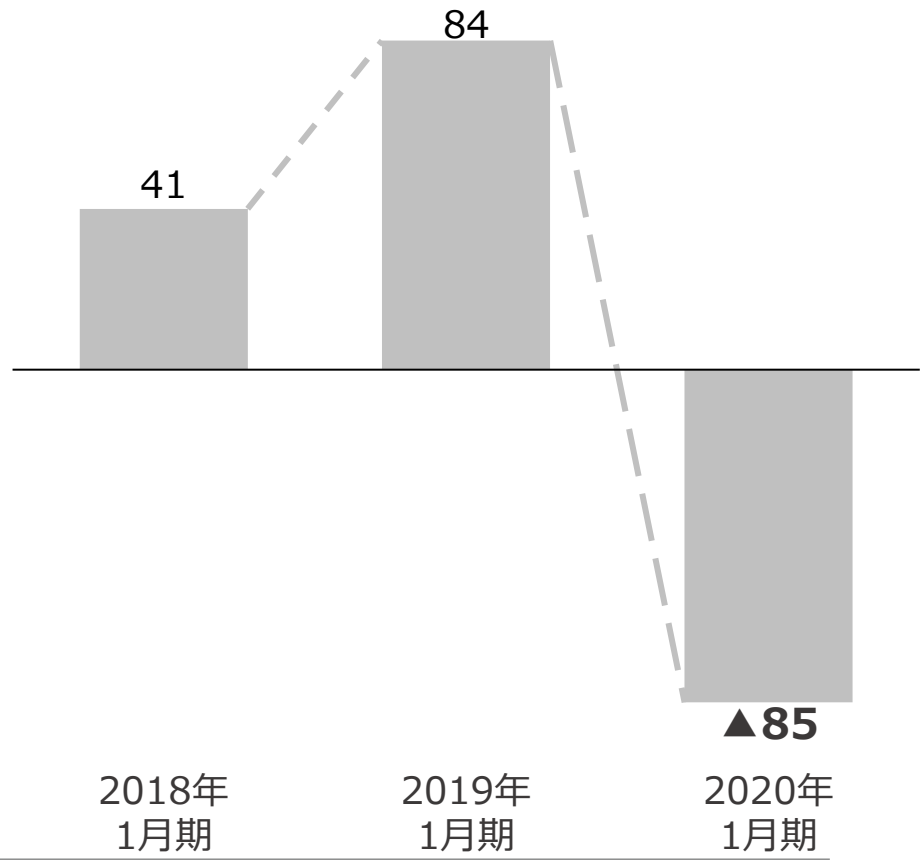
第36期 セグメント業績ハイライト③（海外事業）

- 当期に買収したNetRangeは堅調な業績
- 車載向けマルチメディアコンテンツ配信プラットフォーム事業進捗の遅れなどの影響により、前期比で減収減益

売上高（百万円）



セグメント損益（百万円）

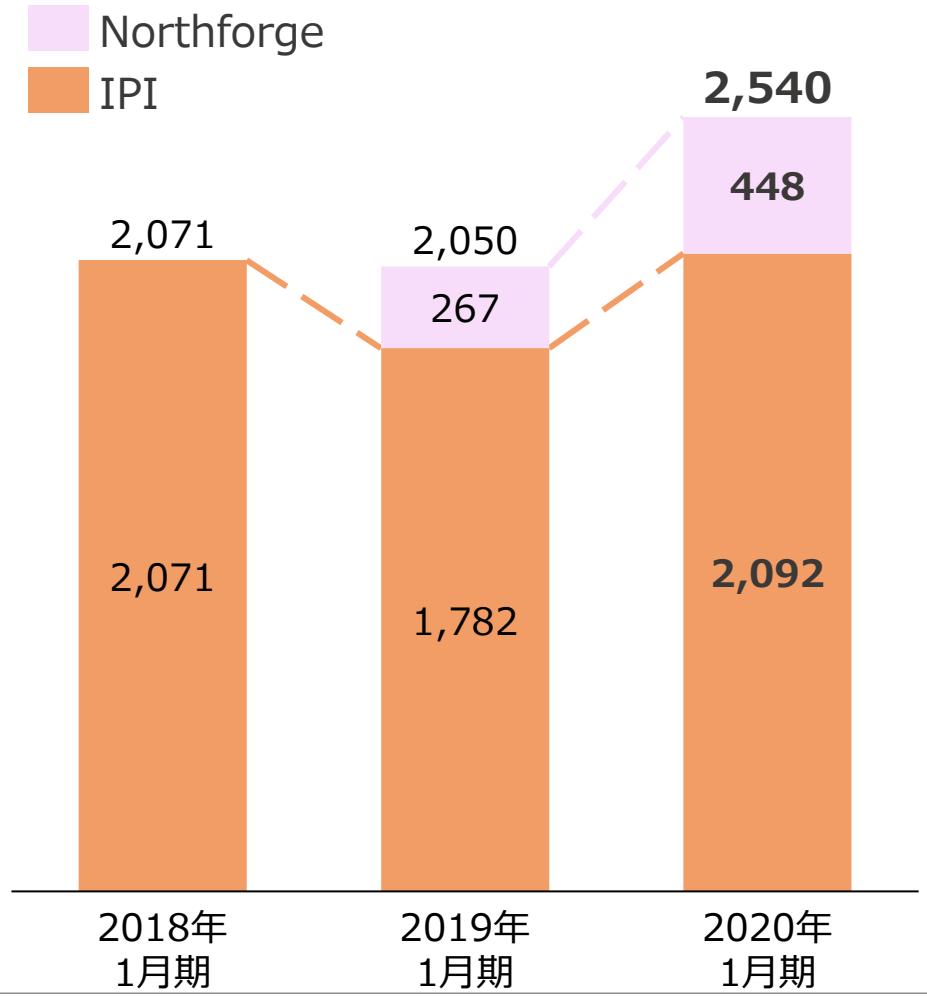


© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

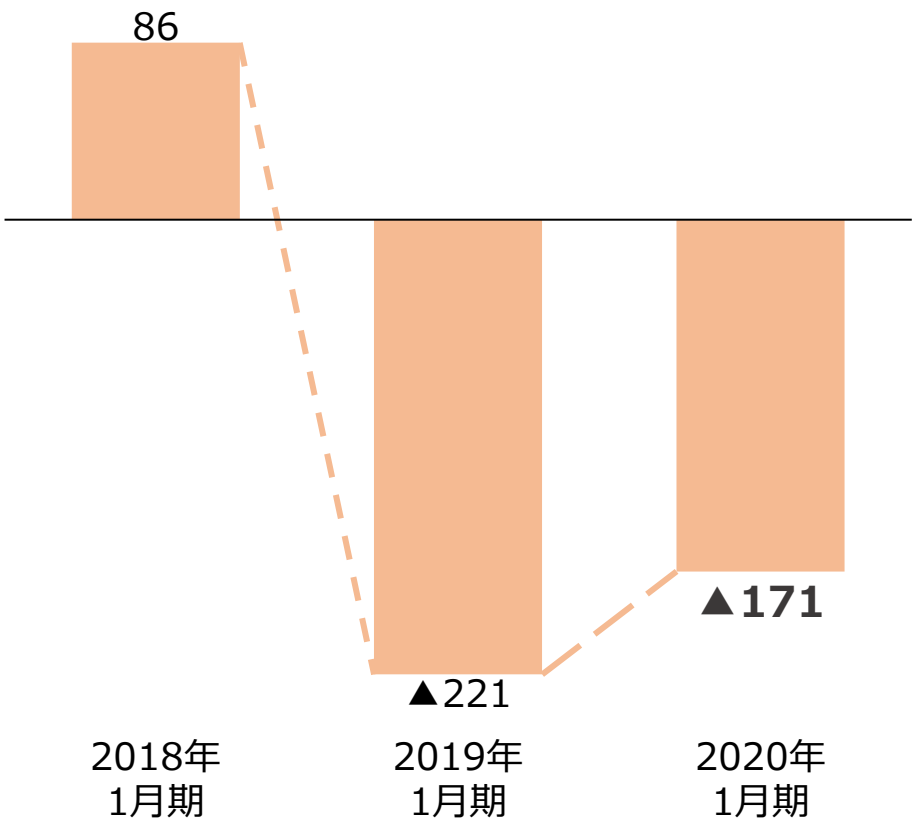
第36期 セグメント業績ハイライト④（ネットワークソフトウェア事業）

- IP Infusion（IPI）では、OcNOSの売上が増加
- Northforgeの買収効果通年化もあり、前期比で増収増益

売上高（百万円）



セグメント損益（百万円）



© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

3.　2021年1月期（第37期）業績計画

第37期 業績計画①

- 第37期は、第38期以降の利益成長に繋げるための売上高拡大の年
  - ✓ ネットワーク事業を中心とした成長分野への投資は継続
  - ✓ グローバルにスケール可能な自社製品開発も継続

計画骨子

国内事業	• IoT事業は、既存サービスの育成・ストック型収益サービスを創出 • Webプラットフォーム事業はTV向けの高シェアを維持、車載向けのシェアを拡大 • 電子出版事業はサービス範囲・シェアを拡大
海外事業	• 車載向けマルチメディアコンテンツ配信プラットフォーム事業の市場浸透 • NetRangeの事業活用による収益強化
ネットワーク*事業	• AT&T Inc.の子会社との業務提携を活用した、OcNOS/Vyattaの通信事業者およびサービス事業者への販売

＊ 第37期より、ネットワーク事業にセグメント名称を変更予定　※事業内容は変更なし

© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

第37期 業績計画②

・売上高、営業利益ともに成長を見込む

（百万円）

	2020年1月期 実績	2021年1月期 業績予想値	増減額	増減率
売上高	9,422	13,000	+3,577	+38.0%
営業利益	387	580	+192	+49.5%
経常利益	430	530	+99	+23.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	493	360	▲133	▲27.0%
一株当たり 当期純利益（円）	12.72	9.28	▲3.43	▲27.0%
一株当たり 年間配当金（円）	3.00	3.00	-	-

© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS

第37期 業績計画③

- ネットワーク事業の売上高の大きな成長を見込む
- 事業成長投資に伴う費用増が継続し国内事業は減益

（百万円）

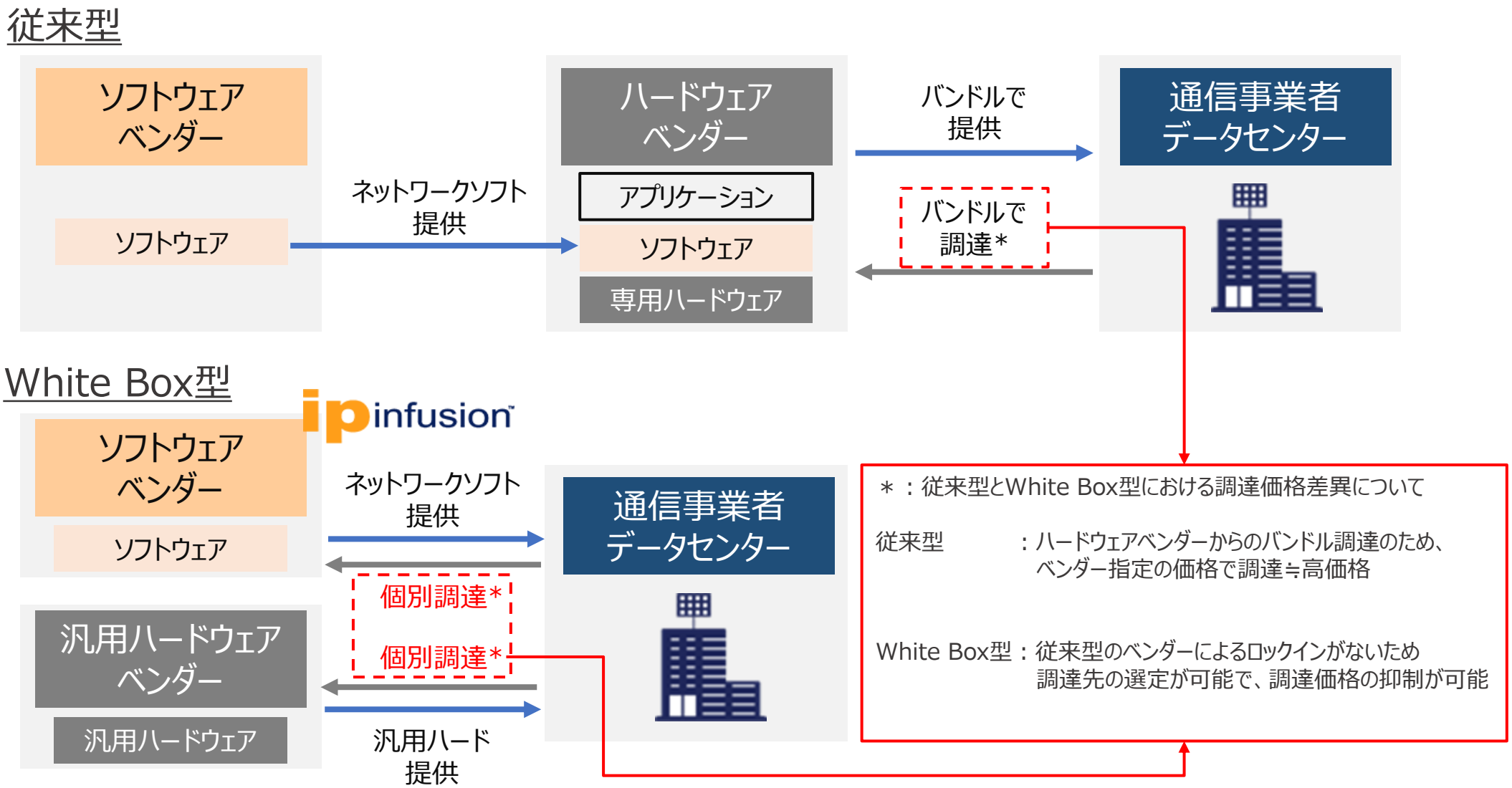
		2020年1月期 実績	2021年1月期 業績予想値	増減額	増減率
国内事業	売上高	5,884	6,765	+880	+15.0%
	セグメント損益	643	390	▲253	▲39.4%
海外事業	売上高	998	1,535	+536	+53.7%
	セグメント損益	▲85	190	+275	-
ネットワーク事業	売上高	2,540	4,700	+2,159	+85.0%
	セグメント損益	▲171	0	+171	-

© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

4.　今後の戦略的取り組み

今後の戦略的取り組み ネットワーク事業①

- 5G化の進展や通信トラフィックの増大に伴い、ネットワーク機器が従来よりも安価で開発自由度の高いWhite Box型へ移行*

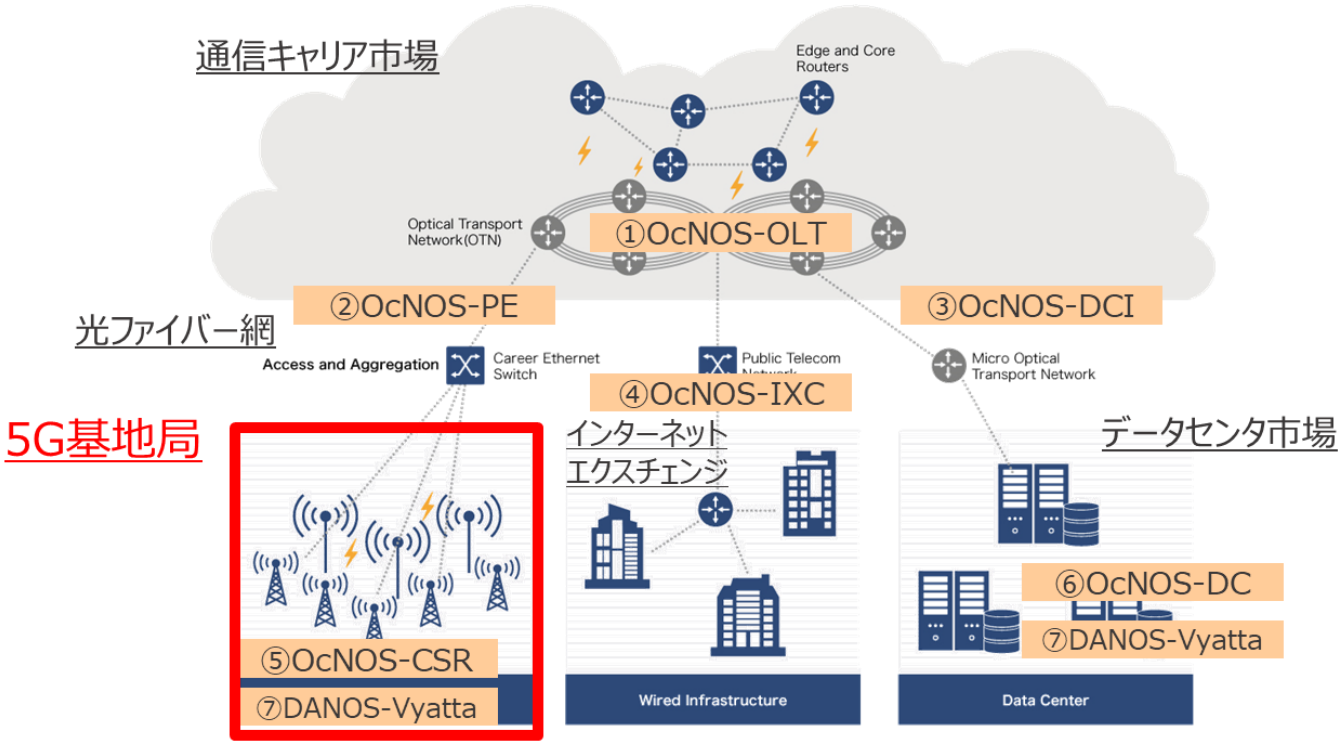


© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

今後の戦略的取り組み ネットワーク事業②

- 5G化の市場トレンドを踏まえ、基地局を含む通信事業者向けに注力
- 通信事業者の幅広い要望に対応可能な製品を投入
  - ➢ 当社製品のOcNOSに加えて、AT&T*との協業によって通信事業者向けのWhite Boxソリューション「DANOS-Vyatta」の独占販売が可能

（OcNOSのターゲット市場図）



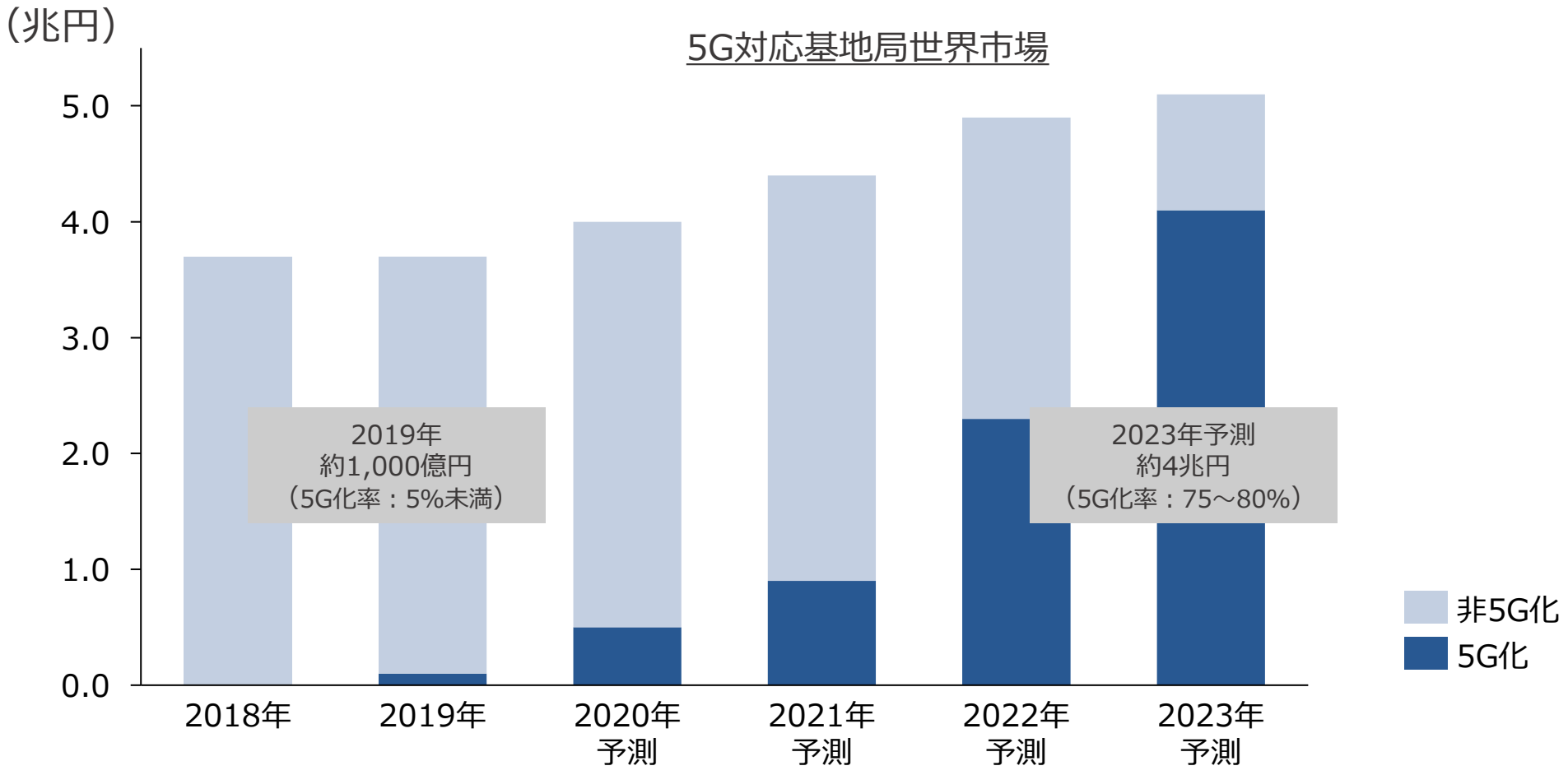
（技術提供イメージ）

＊ AT&T Inc.の子会社のAT&T Intellectual property, LLCならびにAT&T Services, Inc.と業務提携

© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

今後の戦略的取り組み ネットワーク事業③

- White Box型ソリューションで5G基地局市場におけるシェア獲得を目指す



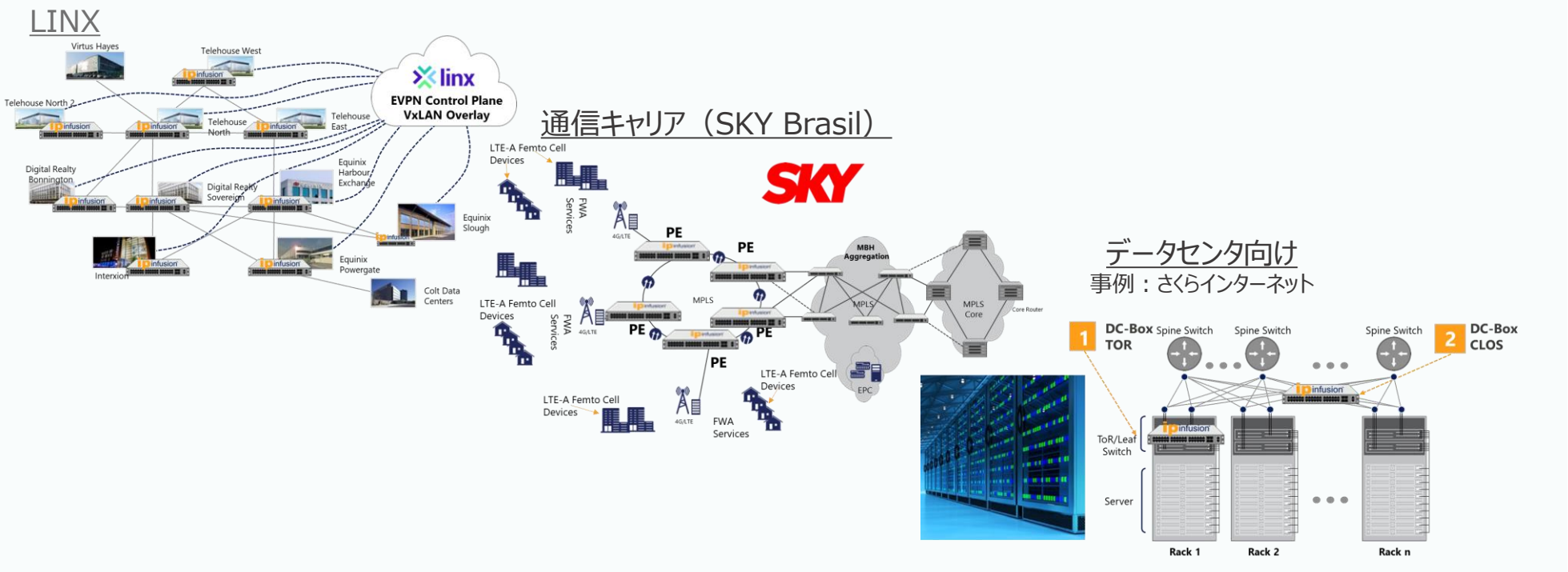
※ 当社調べ

© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

参考）ネットワーク事業ロードマップ進捗状況

	2019.1期	2020.1期	2021.1期	2022.1期
当初計画*	先行事例の開拓（LINX）と製品開発投資	通信キャリアのアーリーアダプター獲得 データセンターでの採用	大手通信キャリアでの商用採用	複数の大手通信キャリアでの本格展開

導入事例



＊ 2019年6月13日 当社ネットワークソフトウェア事業説明資料より抜粋

© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

今後の戦略的取り組み Webプラットフォーム事業

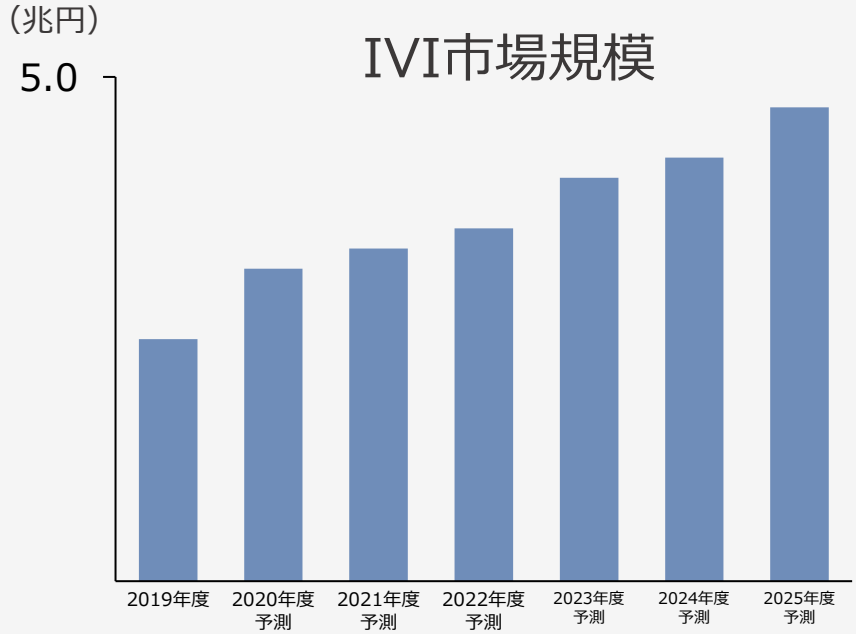
- 車載と放送向けを軸に、グローバル拡大・新規サービス創出を目指す

車載

➢ 車載インフォテインメント（IVI）開発の複雑化をブラウザ技術で解決し、車のスクリーンを押さえる

CESにおけるBYTONとの共同デモ

世界最大の車載ディスプレイとなるBYTON Stageに、ACCESS Twine for Carソリューションを用いて、ViacomCBSのコンテンツを投映するIVIを実現



※ 当社調べ

放送

➢ ブラウザシェア（スクリーン）を活かした新規サービス事業へ

© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

今後の戦略的取り組み IoT事業

- IoTビジネスのバリューチェーン全てをカバーすることで収益機会を増やす
- 既存サービスを活用した新たな収益サービス創出を目指す

IoT事業のビジネスモデル

➢ 最上流～最下流工程までワンストップで対応

IoT事業のバリューチェーン

- IoTビジネス創造支援
- IoT技術コンサルティング
- 受託開発

でこれらの工程をカバー

第36期にデータサイエンスサービスを立ち上げ、以下の4つのサービスを展開：

- IoTデバイスパッケージ型サービス
- データ分析・解析・最適化サービス
- PoC・商用システム開発サービス
- データサイエンス・コンサルティングサービス

当社サービス・商品との連携

IoTデバイスパッケージ型サービス

勤怠管理や組織の行動分析

データ分析・解析・最適化サービス

CROS

通販支援ソリューション

PUBLUS®

電子出版ソリューション

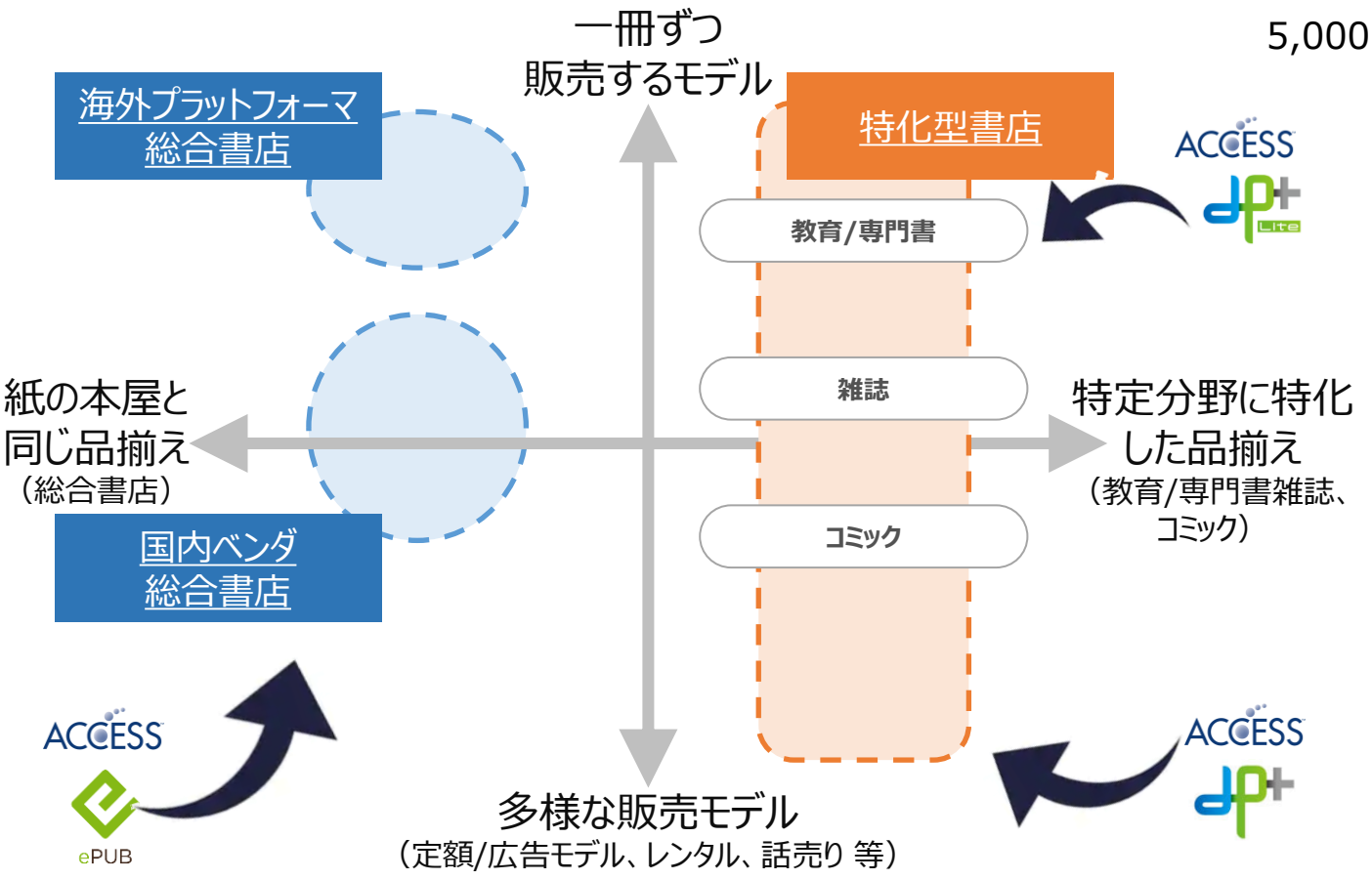
© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS

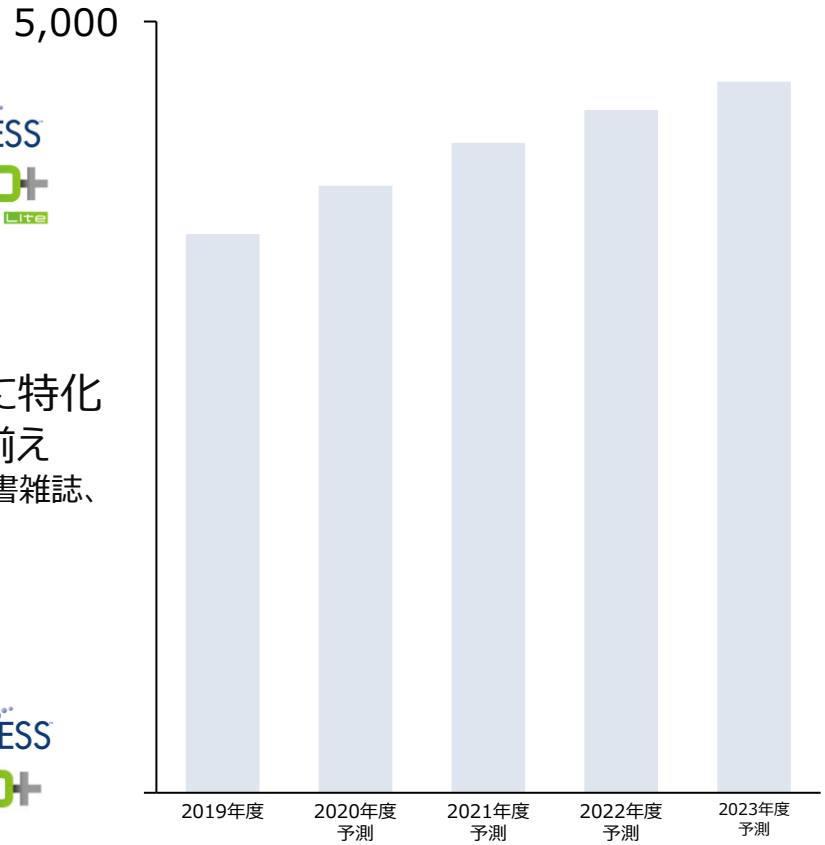
今後の戦略的取り組み 電子出版事業

- 既存製品への機能追加や既存サービス・製品を活用した新たなサービス展開によって、市場の成長トレンドを着実に取り込む

当社製品展開マップ



電子出版市場規模（単位：億円）

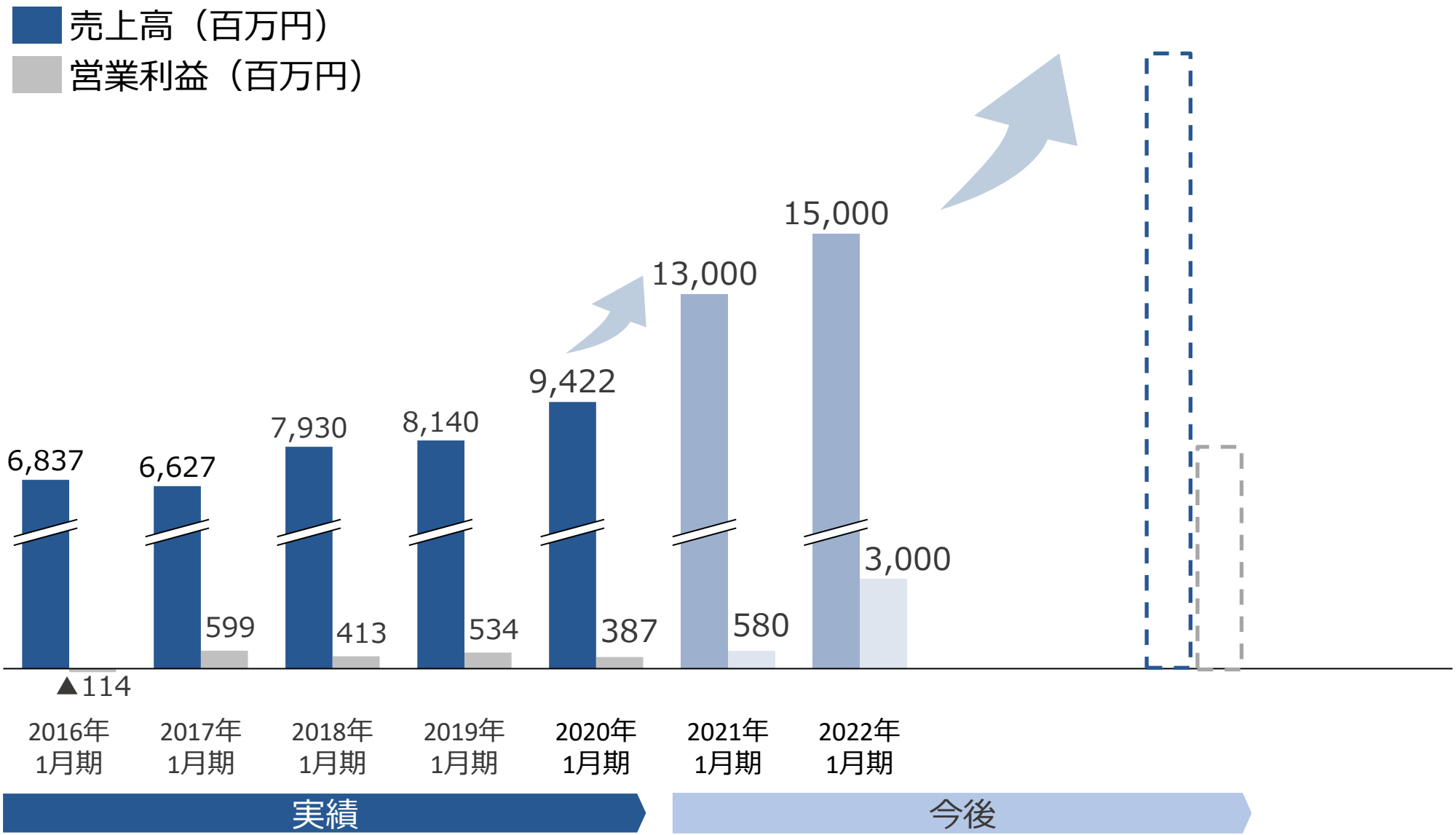


※ 当社調べ

© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

今後の戦略的取り組み

・注力分野の事業成長・継続的な成長投資により持続的成長を目指す



© 2020 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.